

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	宮崎港マリーナ施設宮崎県サンビーチーツ葉
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指標	R4	R3	R2	増減理由等
年間利用者数(人)	293,700	216,800	211,800	当施設は広大な太平洋を眺める臨海公園である。コロナ禍において、屋外施設利用の需要が高まり、多くの方が当施設を訪れたためと考えられる。
海水浴期間のサンビーチーツ葉利用者数(人)	56,900	37,000	51,000	
コメント	年間利用者がコロナ禍以前よりも増加していること(H29:約280千人、H30約250千人、R元:約230千人)、また、目標である290千人を上回っており評価できる。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R4	R3	R2	支出	R4	R3	R2
指定管理料	113,286	103,412	101,924	人件費	59,416	51,642	52,735
利用促進事業収入	73,255	54,939	38,554	需用費、役務費	15,272	13,131	11,489
自主事業収入	602	1,948	4,722	委託料・使用料等	24,147	23,253	24,412
				一般管理費	11,329	10,341	10,192
				利用促進事業支出	67,459	59,340	50,166
				自主事業支出	666	2,441	5,343
合計(①)	187,143	160,299	145,200	合計(②)	178,289	160,148	154,337
収支差額(①-②)	8,854	151	-9,137				
コメント	利用者数の増加に伴い、収支差額も増加となった。特に利用促進事業の収入が大幅に増加しており評価できる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(毎日実施)
	保守・点検	クレーン・クレーン・プル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警備	夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修繕	電気系統修繕、遊具修繕、漏水修理、ビーチ施設等修繕、門扉鍵修繕等
	備品等管理	備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策	パトロールの実施(毎日)、マリーナ航路情報の提供、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施
	その他	危険区域侵入者や夜間の不審者への直接指導と警察への速やかな通報の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	年中無休化・開園時間延長の継続、サンビーチーツ葉シャワー室の通年利用化、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、バーベキュー広場WEB予約システムの導入、サイクリング・ジョギング・ウォーキングマップの更新
	イベント等ソフト面充実	マリーナ・ビーチにおける自主事業の実施(フリーマーケット、親子つり大会、ヨガ教室、バーベキューグッズレンタル、海の環境保全教室・海洋レジャー体験会等)の実施。 ※中止した事業(デインギーヨット体験教室、命の丘天体観測会)
	施設設備等ハード面充実	ミスト・スプリンクラー設置(海水浴期間中)、無料休憩施設の開設、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリンセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
	その他	赤ちゃんの駅への登録、海の駅への登録、サンビーチボランティアの立ち上げ
管理運営体制	利用者へ安心して安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。	
コメント	施設の維持修繕を随時行うとともに、夜間常駐警備や津波避難訓練の実施など、適切な維持管理業務に努めている。また、コロナ感染症対策に的確に対応したサービス提供を行っており、施設利用者の安全性及び利便性の向上に務めている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(公園ポスト、イベント時のアンケート、意見延べ350件)	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
施設の維持・修繕・故障に関する要望	苦情のあった施設修繕には早急に対応している。	
イベントに関する要望	今後のイベントに活かせるものは反映させる。	

5 総合評価

評価コメント	県の方針に基づくコロナ感染症対策に的確に対応しながらサービス提供やイベント実施を行うことで、年間利用者数の大幅な増加が見られるなど、適切な運営が行われると評価できる。
今後の課題と対応	コロナ対応については引き続き、自主的な基本的感染防止対策を継続して行うとともに、随時、感染状況に応じた対応、注意喚起を行い、施設利用者の安全・安心な施設利用に努める必要がある。また、施設老朽化が進んでいるため、更なる施設の安全点検の徹底や迅速な維持修繕が求められる。